



# 国語科言語活動系統表 ~学びのたしかめ~

1年		2年	3年	4年	5年	6年
<p>○みんなに聞こえる声ではっきりと話す</p> <p>○おもしろいところ、おどろいたこと、もっとしりたいことを考えながら聞く</p> <p>○話を確かめたり分からないことを聞いたりする</p>	<p>話す・聞く</p>	<p>決める 伝えることを思い出す いつ・どこ・だれ・何</p>	<p>伝えることをメモ 相手や目的に合わせて</p>	<p>伝えることをメモ 相手や目的に合わせて</p>	<p>伝えることを観点で分ける 目的や意図に合わせて</p>	<p>伝えることを検討する 目的や意図に合わせて</p>
		<p>準備する はじめ・中・終わりの話の順序</p>	<p>理由や資料</p>	<p>理由や資料</p>	<p>はじめ・中・終わりの構成 事実と感想、意見とを区別</p>	<p>相手に合わせて、効果的な資料を作る</p>
		<p>話す 相手に合わせて 声の大きさ・速さ</p>	<p>聞き手の様子を見て 声の調子・強弱</p>	<p>大事なこと伝わる声の大きさ・間の取り方</p>	<p>具体的な理由を入れて話す</p>	<p>資料を使って、自分の考えや思いを効果的に伝える</p>
		<p>聞く 大事なことを短くメモして聞く</p>	<p>話す方の人を見ながら聞く しつもんする</p>	<p>大事な言葉をメモしながら聞く</p>	<p>話の要点・内容の確認</p>	<p>自分の考えと比べて、考えを深める</p>
		<p>話し合う 友達につなげて話す 理由を話す</p>	<p>目的・進め方・自分の役割 友達の考えと同じところ違うところ</p>	<p>司会グループの進行・板書 自分の立場 発言・質問</p>	<p>質問を通して、共通点や異なる点を 目的・条件・進行計画に沿って、考えを広げる・まとめる</p>	<p>他の人の考えを自分に生かす 目的や条件に応じて、計画的に考えを広げる・まとめる一結論へ</p>
<p>つなげる 気がついたことを伝え合う</p>	<p>気がついたことを伝え合う</p>	<p>気がついたことを伝え合う</p>	<p>気がついたことを伝え合う</p>	<p>気がついたことを伝え合う</p>	<p>相手とのつながりをつくる言葉 情報と情報との関係づけ</p>	
<p>○字を正しくかく。</p> <p>○句読点を使う</p> <p>○「は」「を」「へ」を正しく使う</p> <p>○順序に気を付けて分かりやすく書く</p> <p>○読み返して間違いを直す</p> <p>○感想や分かったことを伝える</p>	<p>書く</p>	<p>決める 見たり、聞いたりを思い出して 短い言葉や文でメモし、書きたいことを明確に</p>	<p>一人で考えて、友達と話して書くことを決める 短い言葉や文でメモし、書きたいことを明確に</p>	<p>一人で考えて、友達と話して書くことを決める 短い言葉や文でメモし、伝えたいことの中心を明確に</p>	<p>目的や意図に応じて書く内容をしぼる 集めた情報の中から伝えたいことに合う理由や根拠を選び、確かめる</p>	<p>伝えたいことを明確にし、整理する</p>
		<p>組み立てる じゅんじょ はじめ・中・終わりのまとまり</p>	<p>はじめ・中・終わりのまとまり 内容のまとまりでの段落分け</p>	<p>段落のまとまりによるはじめ・中・終わりの</p>	<p>段落の分け方工夫（どこに何が） はじめ・終わり：自分の考え 中：理由・根拠を複数</p>	<p>伝えたいことに合わせた、効果的な構成</p>
		<p>書く まとまり くわしく 読み返して間違いや読みにくいところを直す</p>	<p>分かったこと・考えたことを分ける 例をあげる順序・資料の示し方 読み返して間違いや読みにくいところを直す</p>	<p>理由や例と伝えたいこととの関わり 資料の使い方の工夫 読み返してより良い言葉や言い方がないか考え、整える</p>	<p>実際のこと、その記録（引用など）と自分の考えを区別 資料と文章の対応 読み返してよりよい構成や表現がないか考え、整える</p>	<p>自分の考えにふさわしい言葉を選ぶ 資料と文章との組み合わせを工夫 読み返して自分の思いが伝わる構成や表現なのかを考え、整える</p>
<p>つなげる 読み合って思ったことを伝える 自分の文章のよいところを見つける</p>	<p>自分の文章に対する感想から、内容や書き方の良いところを知る</p>	<p>自分の考えが正しく伝わっているか 確かめるように感想を聞く</p>	<p>分かりやすいところや、説得力があるところを伝え合う</p>	<p>読んだ人に、自分の思いが伝わっているかを確かめる</p>		
<p>【説明文】</p> <p>○だいたいな言葉をたしかめながら読む</p> <p>○説明のじゅんに気を付けて読む</p> <p>○比べることで違いを分かる</p> <p>【物語】</p> <p>○おはなしのまとまり</p> <p>○だれがなにを言ったりしたりしたか</p> <p>○登場人物がしたこと言ったことを思い浮かべて読む</p> <p>○感じたことを友達と話す</p>	<p>読む</p>	<p>とらえる 説明 時間を表す言葉・順序、絵や写真</p>	<p>題名と「初め」から話題の確認、「中」の例と話題のつながり、段落の役割</p>	<p>「初め」「終わり」にある筆者の考え、段落同士の関係と筆者の考え</p>	<p>筆者の考えから要旨、事例や理由と筆者の考え</p>	<p>文章全体の構成、主張と事例、筆者の思いと資料の使い方の関わり</p>
		<p>物語 登場人物のしたこと言ったこと、題名や挿絵</p>	<p>登場人物のしたこと言ったこと、気持ちを表す言葉、話の組み立て</p>	<p>登場人物の気持ちや考え方の表出、話の組み立て</p>	<p>言動や心情と人物の関係、人物の関係が変化するきっかけとなる出来事に着目</p>	<p>視点の違いに着目した人物像 作者の作品に込めた思い</p>
		<p>深める 説明 大事な言葉や文、文章の言葉を選んでまとめる</p>	<p>大事な言葉や文、筆者の例の書き方（順序や資料）</p>	<p>中心となる語や文、要約</p>	<p>資料と文章との対応、筆者の考えと事例や資料の結び付きを整理</p>	<p>筆者の主張に自分の経験や知識を関係づける</p>
		<p>物語 様子や登場人物のしたこととの想像、登場人物の言動の理由</p>	<p>登場人物の性格（会話・行動から）、出来事が起こる前と後での変化</p>	<p>場面と場面のつながり比較からの気持ちの変化、繰り返し用いられる言葉への着目</p>	<p>表現からの人物像の想像、情景に表れる心情等表現の工夫</p>	<p>自分と比べながら人物像を深く捉える 作者の生き方や他の作品と関連させる</p>
		<p>まとめる 書かれていることと自分の知っていることをつなげて読む</p>	<p>書かれていることと自分の知っていることをつなげて読む</p>	<p>読んだ人の受け止め方による印象や考えの差</p>	<p>知識や経験と重ねながら、自分の考えを明確に</p>	<p>取り上げられているものについて、筆者の意図を考える</p>
<p>ひろげる 思ったことを伝える</p>	<p>自分の考えと同じところや違うところに着目して感想を聞き合う</p>	<p>自分とは異なる感想の原因や感じ方の良さを考える</p>	<p>互いの感じ方の違いから新しい見方考え方に出会う</p>	<p>複数の文章を読んで考えたことを様々な人と交流する</p>		